

中国四国厚生局 職員の日

岡山事務所の仕事

岡山事務所では、岡山県内の保険医療機関・保険薬局等に関する業務を行っています。事務所には審査課と指導課の2つの課があり、審査課では保険医療機関の指定や保険医療機関等から提出された届出の審査、指導課では保険医療機関等に対する指導・監査を行っています。

指導課の仕事

私が担当している指導業務は、保険診療のルールを保険医療機関等に周知徹底するために行うもので、新たに保険医療機関となった医療機関に向けて実施する集団指導や、個別に保険医療機関をお呼びして保険請求の内容や妥当性を確認する個別指導などがあります。

このような指導業務を通して、皆様にも身近な存在である医療保険制度を健全に運営し、適正化できるよう日々取り組んでいます。



岡山事務所

安積 拓哉

Azumi Takuya

[令和2年度採用]

現在の主な業務内容

以下の医療機関等に対する指導・監査

- 保険医療機関、保険薬局
- 保険医、保険薬剤師
- 訪問看護ステーション
- 柔道整復師
- あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師

・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 ・ 16 ・ 17 ・ 18 ・

8:30 出勤、メール確認

出勤後、まずはメールを確認します。

他の職員に向けて「朝メール」を送り、1日の自分の予定や業務の進捗状況を共有します。

12:00~13:00 昼休憩

1時間の休憩時間中に昼食をとります。事務所の向かいにはイオンモールがあり、合同庁舎には売店もあるので便利です。

10:00 打ち合わせ

指導を実施する前に打合せを行います。保険医療機関等に保険診療のルールをより理解していただくため、指導の場で確認すべき事項などを担当者間で事前に共有します。



14:00~16:00頃 指導業務

保険医療機関に対する指導を行うため、会場へ出張します。指導はその種類にもよりますが、1時間から2時間程度で終了します。指導後は事務所に帰り、指導において医療機関等に対して改善を指摘した事項などを整理します。

指導はひと月に数回実施しており、毎日指導に出向いているわけではありません。指導がない日はその準備をしたり、国民の皆様や医療機関等から寄せられる医療保険制度に関する照会に回答したりしています。

17:15 退庁

退庁後は、健康のためにランニングに出かけることもあります。職場の人たちと大会に参加したりと、プライベートの交流も盛んです。

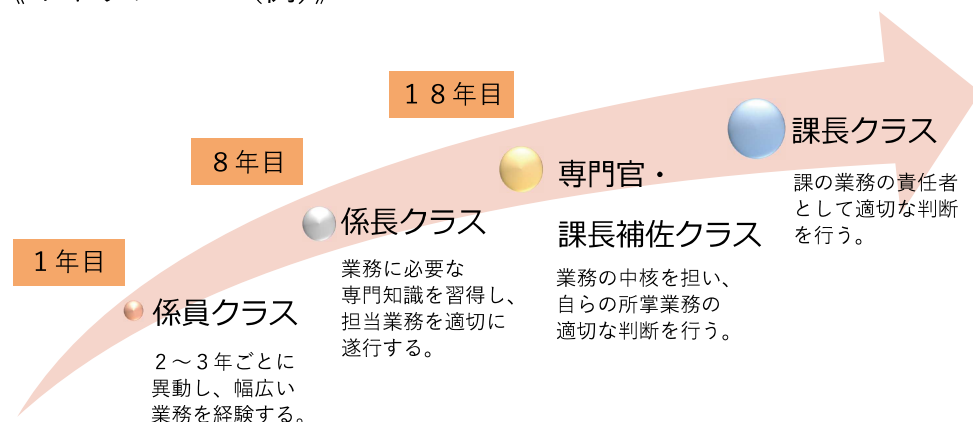


中国四国厚生局入局後のキャリアパス ワーク・ライフ・バランス

中国四国厚生局では、2～3年ごとに異動し、幅広い業務を経験します。その中で、知識を蓄積し、専門性を磨き、厚生行政のスペシャリストとして活躍することができます。

また、厚生労働省本省、日本年金機構、他の地方厚生（支）局、市区町村など、中国四国厚生局以外の部署への出向の機会もあります。

《キャリアパス（例）》



※これは一例です。それぞれのキャリアパスは、本人の適性、勤務成績などにより異なります。

《ワーク・ライフ・バランス》

超過勤務縮減

週2回の一斉定時退庁日（水・金）の呼びかけの他、定時後のミーティングの原則禁止など超過勤務縮減に取り組んでいます。

妊産婦及び育児を行う職員への配慮

女性の産前・産後休暇や育児休暇のみならず、子どもが生まれた全ての男性職員に対し、「男の産休」＜配偶者出産休暇（2日）及び育児参加のための休暇（5日）＞の7日取得をはじめ、育児休暇の取得を勧奨しています。



柔軟な勤務時間

フレックスタイム制の導入により、勤務時間を柔軟に変更することができます。

育児休業の取得

中国四国厚生局では、女性の育児休業取得はもちろん、男性職員の育児休業の取得を推奨しています。

実際に育児休業を取得した2名の男性職員（令和6年度）に取得した際の様子や周りの環境などの育児休業制度を利用した感想について聞いてみました。



総務課
畠光 貴之
Unemitsu Takayuki

第一子誕生後、妻の仕事復帰に合わせて育児休業を1か月取得しました。

育児休業中、初めて1人で立つ瞬間や食べることでできる食材が増えていく様子等、子の成長を間近で感じたり、子のペースに合わせて保育園の慣らし保育へ一緒に通ったりと、有意義に時間を使うことができました。

復職後、子の発熱等で急遽退勤したり、1日休暇を取得したりすることもあります。子の看護等休暇等の各種制度があるため、安心して働くことができています。

第一子誕生に伴い、育児休業を2か月取得しました。育児は慣れないことの連続で大変でしたが、家族で過ごした時間・経験・苦労や日々のささやかな喜びetc.、そのどれもがとても貴重でかけがえのないものでした。

育児経験は一生のなかでも貴重な経験だよと背中を押してくださった先輩職員、復帰後も業務がしやすい環境を準備してくれていた同僚達のサポートのおかげで、安心して育児休業を取得できたと思います。育休復帰後も柔軟な勤務時間で働く等、仕事と家庭の両立に努めています。



総務課
三島 智貴
Mishima Tomoki